



社会福祉法人コスモス
総合生活支援センターそら&アクティブスペースかいと

そら かいと 通信

⑤hine ①ur ①ife ①nytime 「そら (Sola)」 ~いつも光り輝く暮らしを~

①たくら ①ずみがおか ①が ①よだ 「かいと」 ~じゆうにのんびりとそらを舞う Kite のように~

2024年4月吉日 発行 (No.26)

発行 社会福祉法人コスモス

総合生活支援センターそら

住所 堺市南区梅202-9

TEL 072-349-8621

FAX 072-349-8622

メール sola@sakaicosmos.net

発行責任者 上之蘭 康



施設からのご挨拶

今年の春は、おとずれがゆっくりのようですが、少しずつ草花が芽吹き始めてきました。地域の皆様におかれましては日頃から当事業所の運営にご理解賜りまして誠にありがとうございます。

2024年度は、施設のことを知ってもらえるような取り組みをもっと開催できるよう、思案しているところです。

バザー・お祭りや見学会をご案内できましたら、ぜひ、お越しください。



総合生活支援センターそら 施設長 上之蘭 康
アクティブスペースかいと 施設長 前原 由里子



社会福祉法人コスモスがめざすもの

国民の権利としての、社会福祉の進歩を築きます。
社会福祉の公的責任と市民の共同性を追求します。

私たちは

1. だれもが、必要な時に、利用できる福祉制度の確立をめざします。
2. 利用者の生活と発達を保障し福祉の向上と内容の充実につとめます。
3. 利用者の健康で文化的な生活と権利をまもり、福祉のネットワークづくりにつとめます。
4. 地域の人々と共同し施設の民主的な運営につとめます。
5. 国民の基本的人権の尊重と人類の恒久平和につとめます。

必要なすべての人に心のかよった福祉を

かいと ごあいさつ



春陽の候、地域の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

2023年4月より豊田の地域に移転し、配食サービスやパンづくりの仕事を頑張ってきました。また作業工賃をもって外出とりくみも行いました。

秋には、はじめて「そら・かいと祭り」もおこない、地域の方々とふれあう機会をもてました。だんじりが施設の前の道を通るときは圧巻でした。

2024年3月13日に堺市立青少年の家の場所を使い、アクティブスペースかいとの利用者で構成されている“なかまの自治会総会”を行い、この1年間を振り返りました。4月には2年目を迎えます。今年度も利用者・職員一同、仕事を頑張り、地域に根ざした事業所として、地域の皆様に見守られながらがんばっていきたくと思っています。末永くどうぞよろしくお願い致します。



「なかまの自治会」総会の様子。一年間の活動やなかまの決まりを振り返ったりします。

地域清掃にも取り組みました。



きょうされん
国会請願署名
募金活動に
取り組んでいます

きょうされん 2023年12月~2024年4月
第47次
国会請願署名・募金運動
全国キャンペーン

わたしたちは「きょうされん」です

優生保護法によって社会に広がった優生思想をなくすために

優生保護法(1948~1996年)は、障害等を理由に強制的に不妊手術を受けさせることを認めていました。この法律の根拠にある優生思想を振り払うためにも、被害者に対する国の謝罪と被害者の人権を回復するための働きかけが必要です。

障害のある人がもつ当たり前の切実な願い

- コロナなどの感染症にかかっても安心して入院したい
- 障害がない人と同じような生活の暮らしがしたい
- 働きに行っているのに利用料を取られるのはおかしい
- 65歳を過ぎても通い慣れた事業所で働きたい

障害のある人を支える事業所の悲鳴

福祉の現場は大きな人手不足です。その一環の原因は資金の不足にあります。障害のある人が利用する日にだけ報酬(収入)が入る日払い方式ではなく、人件費等の固定費は月間払いとするところも、基本報酬の大幅な引き上げが必要で、物価高も追い打ちをかけ、事業所運営はさらに厳しさを増しています。

職員不足の
実態調査

2015年10月に開所し、9年目を迎えました。障害者の生活を支える4事業所が集まっている24時間365日型の施設です。

福祉避難所、かつ、「堺市地域生活拠点等を担う短期入所事業所」として障害者の緊急時対応事業を行う施設としても堺市から指定されています。



ショートステイそら(短期入所)



ショートステイそらは、地域で知的障害や身体障害のある方が、平日は夕方から翌朝まで、休日は終日過ごすことができる所です。家族の方が急な病気やケガ、入院などあった時や一息つきたいといった時など、ご本人が家族さんと一時的に離れて過ごす施設です。

2023年度は複数日程でのプール開きやケーキのついたクリスマス会、各月に行う季節に合わせた製作、また来られる方の好みに応じた取り組みなどを行い、少しでも「楽しい」時間を過ごせるようにと工夫してきました。

また、夜中でもご家族の方の体調の急激な悪化・救急搬送などあればご自宅に駆け付け、ご本人をショートステイまでお連れし、一夜を過ごす、といったこともいくつかありました。これからも安心して過ごせる夜を、一日を、少しでも増やしていけたらと思っています。



ケアプランセンターせんぼく(相談支援事業) TEL072-289-5559



日差しが温かく過ごしやすい日々となりました。皆様お変わりありませんか？

2024年2月に総合生活支援センターそら内で「あい・ふあいるセミナー」を行いました。あい・ふあいるとは、障害のある子どもさんが、幼稚園や保育園・療育施設から小学校に進級するときなど支援のつなぎ目をスムーズに移行できるように作られるファイルです。子どもさんのことを生まれたときから記入していき、成長を保護者や支援者、学校の先生などと一緒にみんなで見守っていけるようにできるツールです。2024年度も開催予定です。障害のあるなしに関わらず、少し子育てしにくいなと感じたり、困ったことがある場合は、是非あい・ふあいるセミナーにご参加いただいたり、いつでもケアプランセンターせんぼくへご連絡ください。

ケアホームせんぼく(グループホーム)

コスモスケアホームせんぼくでは2023年度はいままで感染対策であまりイベントに取り組めなかった事もあり、今年度は思い出に残る取り組みをしよう！という事でホームから外に飛び出す企画や、季節を感じられるイベントを



おこなってきました。高齢化や障害の進行、疾病による身体機能の低下等への対応にも取り組み、利用者の笑顔溢れる暮らしの実現を2024年度も大切にしていきたいと考えています。



ヘルパーステーションせんぼく(居宅、移動支援のヘルパー派遣)

2023年度では二色の浜での潮干狩り、南楽園でのみかん狩り、3月には和歌山マリーナシティへのガイド企画を実施。少しでも外出を楽しめるようにと工夫した取り組みを実施してきました。地域でのイベントも復活し「地域へと出かけて楽しむ」という当たり前の生活が戻ってきたと実感できる1年でした。2024年度も引き続き、外出企画を行い季節を感じられるような外出等も保障していけるよう頑張ります！



堺の福祉をすすめるコスモス後援会 賛助会員募集しています

